

# 製品安全データシート(SDS)

日付：2008年8月24日

## 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ 耐水ペーパー  
 会社名 株式会社MonotaRO  
 所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
 担当者名 商品お問合せ窓口  
 電話番号 0120-443-509  
 FAX番号 0120-289-888  
 緊急連絡先 所在地と同じ  
 整理番号 M190708

## セクション1. 材料情報及び使用

製品名：研磨紙 (104.00) 可燃性： 0 反応性： 0  
 材料：炭化ケイ素耐水研磨紙 (C) 健康への影響： 0 人体への影響： 0

## セクション2. 組成、成分情報

有害成分	概算濃度 %	CAS 番号または 国連番号	暴露限度		LD50/LC50 種と経路の指定
			ACGIH 化学物 質の許容濃度	OSHA 許容暴 露限界	
炭化ケイ素(SIC)	35			該当なし	該当なし
エポキシ	30			該当なし	該当なし
クラフト紙	35			該当なし	該当なし

## セクション3. 物理的及び化学的性質

物理的状態 気体 <input type="checkbox"/> 液体 <input type="checkbox"/> 固体 <input checked="" type="checkbox"/>		臭い及び外観 無臭		臭気閾値(ppm) 該当なし		水/油分配係数 該当なし	
蒸気圧(mm)	蒸気密度(エア=1)	蒸発速度	沸点 (C)	凝固点(C)			
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
水に対する溶解性(20)	% 揮発性 (体積比)	水素イオン指数	密度(g/ml)	比重			
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	1 より大			

## セクション4. 火災及び爆発の危険有害性

可燃性: なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ありの場合の条件：直火にさらされると燃焼する。 消火剤：粉末消火薬剤、二酸化炭素、水 特別な措置：なし			消火剤： どれでも可 (化学消火器は必要なし)		
引火点 (C)及び方法：		爆発上限界 (体積比)：		爆発下限界 (体積比)：	
自己発火温度 (C): 該当なし		危険物輸送の燃焼性分類： 該当なし		危険有害な燃焼生成物：不完全燃焼によるCO <sub>2</sub>	
爆発データ：衝撃に対する感度 該当なし		燃焼速度： 該当なし	爆発力： 該当なし	静電気放電に対する感度 該当なし	

## セクション5. 安定性及び反応性

化学的安定性：あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> なしの場合の条件？
混触危険物質：あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/>
反応性及び条件：粒子が焼け、接着剤が破片化し、バックキंगが燃焼することがある。

危険有害な分解生成物：NAIF
-----------------

## セクション6. 有害性情報

進入経路：	皮膚への接触 <input checked="" type="checkbox"/>	経皮吸収 <input type="checkbox"/>	眼への接触 <input checked="" type="checkbox"/>
	急性吸入 <input checked="" type="checkbox"/>	長期吸入 <input checked="" type="checkbox"/>	飲み込み
製品への急性暴露の影響：粉塵が眼を刺激し、吸入すると咳や息切れが生じることがある。皮膚に接触すると擦過傷を起こすことがある。			
製品への長期暴露の影響：吸入すると肺活量に影響することがある。			
製品への感作性：	相乗作用材料：	製品の刺激性：	製品への暴露限度：
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
がん原生：	生殖毒性：	催奇形性：	変異原性：
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## セクション7. 暴露防止及び保護措置

人体保護具：			
手袋：革製を着用する	呼吸器保護具を着用する： NIOSH/MSHA 防塵マスク 24cfr1910.134	安全眼鏡を着用する	履物：なし
衣服(適切な)：粉塵との接触を最少化するために長袖を着用する	その他(適切な)：聴覚保護が必要な場合がある。		
設備対策(例えば換気)：局所換気を設置し、粉塵を化学物質許容濃度以下にしておく。			
漏出及び流出対策：通常の清掃手順。(空中浮遊粒子を防止するために粉塵を掃除機で吸い取る)			
廃棄物処理：廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。			
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。			
取扱い手順と装置：NAIF			
保管要件：温度 40~90 F 及び相対湿度 30~80%で保管するのが望ましい。			
特別出荷時情報：WHMISの危険有害性製品クラスD2B			

## セクション8. 応急措置

皮膚に付着した場合：付着した部位を完全に洗い、滅菌包帯で擦り傷のある部位を覆う。 必要な場合、応急処置を受けるか医師の診断を仰ぐ。
眼に入った場合：水で15分間洗眼する。 必要な場合、応急処置を受けるか医師の診断を仰ぐ。
吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、必要であれば人工呼吸を施す。 必要な場合、応急処置を受けるか医師の診断を仰ぐ。
飲み込んだ場合：悪影響は知られていないが、飲み込まないようにする。
その他の健康リスクの可能性及び一般的助言：良好な健康・衛生管理のために、被研磨物のMSD情報と本データを組み合わせて使用し、潜在的有害性を十分理解する必要がある。必要な場合、応急処置を受けるか医師の診断を仰ぐ。

## セクション9. MSDSの作成日

情報への追加コメント。本書に含まれる情報は正確と思われるデータに基づいています。しかし本データの正確さや本書を用いて得られる結果については明示的にも暗示的にも保証しません。本データシートに明記する妥当な安全対策を守らない場合、売主は本材料で生じた買主や第三者の負傷に責任を負いません。加えて、たとえ妥当な安全対策が守られていても、売主は本材料の乱用で生じた買主や第三者の負傷に責任を負いません。さらに本材料の使用によるすべてのリスクは買主の負担になります。

記号：NAIF=該当情報が見つからない。